

岩出市根来

# 根来寺遺跡発掘調査

現地公開資料  
平成27年3月5日(木)～7日(土) 10:00～16:00

公益財団法人 和歌山県文化財センター  
和歌山市岩橋 1263-1  
tel:073-472-3710 FAX:073-474-2270

当センターでは、岩出市から委託を受け、平成27年2月初旬から根来寺観光促進事業拠点整備の一環として根来寺遺跡の発掘調査を実施しています。

調査地は、平成22年度に一乗閣移転予定地として調査を実施した地点の西側に当たり、岩出市若もの広場の東側です。

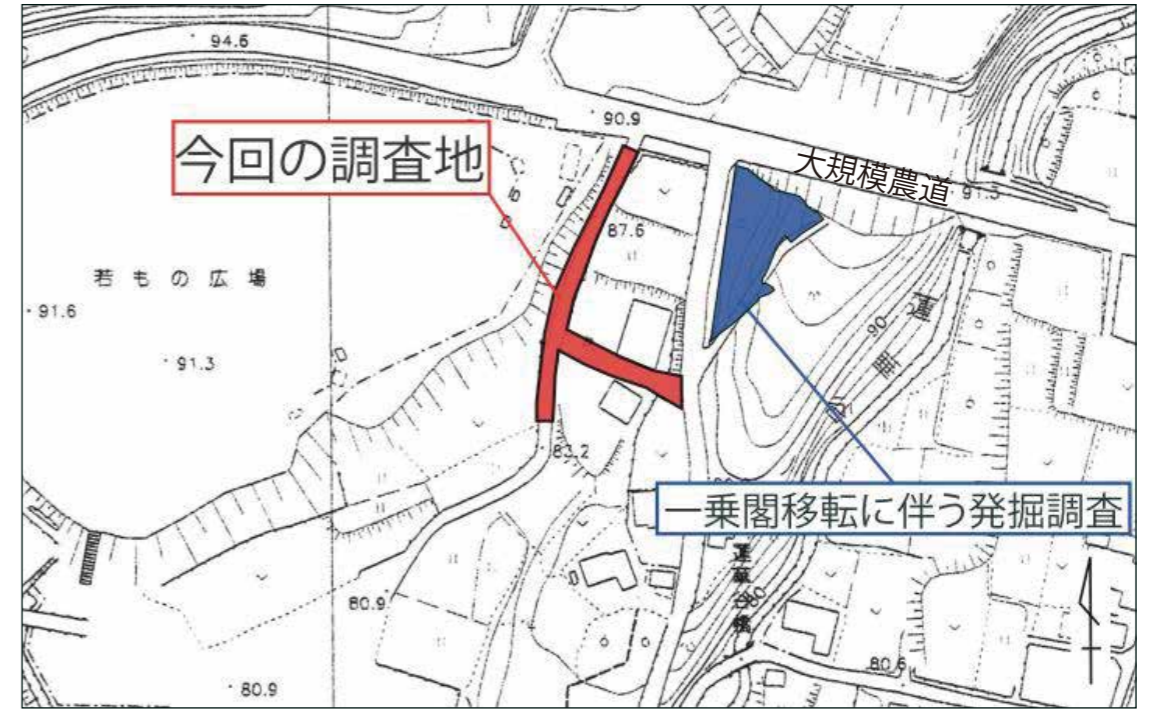
### 【調査地周辺の地形】

東側は北から舌状に延びる丘陵が大門付近まで派生しているため、これの西側に当たる調査地は谷状の地形となっています。また、丘陵は調査対象地の北側に広域営農団地農道(大規模農道)が建設されており、現在は丘陵から切り離され、独立丘陵状を呈しており、この丘陵の北側先端部では現在一乗閣移転事業が進められています。なお、調査地の西側についても今は若もの広場として平坦地となっていますが、かつては調査地の際まで丘陵が迫り、谷状の地形が大規模農道を突っ切り、北側丘陵中腹まで壇状の耕作地が延びていました。

### 【今回の調査】

今回の調査は一乗閣移転地の本調査で検出した敷地の南側にあたり、市道の西端から谷状地に向かって幅約8mの範囲を調査しています。なお、調査地は東から西に約5mの比高差がつき、高い敷地と低い敷地となっています。現在のところ検出している遺構は、高い敷地では石組排水溝、調査地の東側では、高い敷地と低い敷地を限る南北方向の石垣の基底部などが見つかりかけております。また、西側の低い敷地では、後世の土地改変のため石組み遺構などが壊されており遺構の残存状況は良好とは言えませんが、天正の兵火(1585年)にかかる時期まで整地をして子院として利用されていた状況が焼土の詰まった土坑状遺構や床面が赤く変色した遺構などにより垣間見られます。他に、埋甕や石積井戸、石列なども見つかりかけています。

遺物は中国製磁器(青磁碗、白磁碗・皿、染付皿)、備前焼(壺・甕)、石臼、瓦などが出土しています。



調査地位置図



焼土の詰まった土坑状遺構



埋甕



調査地東側で検出された石垣(基底部のみ遺存)



石組排水溝



石積井戸



焼土溜りから遺物出土状況